

研究室彙報

眞宗學研究室

一月廿日(金曜) 午後三時より會議室に於て例會を開催す。

眞宗安心問題の大系(二)

加藤智學教授

佛教學研究室

聖典語學會

十二月八日(木曜) 於應接室例會開催

戸陀槃尼の轉婆沙論編纂の形式と其の支那傳説に就いて
研究科 舟橋 一哉君

十二月十五日(木曜) 於應接室例會開催

中論無畏疏に於ける二三の問題

學部三回生 横地 祥原君

人文學第一研究室

國文學會

十一月十八日(金) 例會

佛教思想を取扱ひたる明治大正の文學
(戯曲を中心として) 中野 馨君
良寛の藝術を通じて見たる彼の思想

十一月二十一日 午後二時半より頼原教授指導のもとに
博物館に於ける「蕪村展」を見學す。

十一月廿六日(土) 本學講堂に於いて本年度の公開講演
を開催す。聴衆多數にして極めて盛會なりき。

明應本節用集について

龜田次郎教授

橘曙覽と大隈言道

藤井乙男教授

十二月九日(金) 例會

才膺の成人と俳風の變遷

佐野 宣明君

十二月十六日(金) 例會

大鏡に就いて

富樫 順證君

國史研究會

十一月二十五日 午後三時より會議室に於て例會

淨福寺公巖に就いて 三回生 佐々木求己君

十二月十五日 午後三時より第八教室にて例會

中井竹山に就いて 三回生 北島 信正君

徳川幕府の統治方針 三回生 宮田 利雄君

人文學第二研究室

東洋史學會

十一月十九日(土) 午後三時於會議室例會開催

講師

宮崎教授

題

「文明と野蠻」

例會終了後宮崎、秋貞兩教授歡迎會を開く、先輩學生約十五名出席。

十二月十日(土) 午後六時圓山公園佛教俱樂部に於いて例會を催す。

講師

秋貞教授

題

蒙古巡遊を顧みて

秋貞教授御祕藏の映畫及寫眞の觀覽を得て、會員一同驚喜す、例會終了後佛教兒童博物館を見學す。十一時散會佛教俱樂部の日野大心氏の御厚意を感謝す。

昭和七年度大谷學會決算書

收入部

會費收入

金二、一三四・〇〇円

員外學報收入

金 八三・三三

利子及雜入

金 四七・二六

補助受金

金 六〇・〇〇

計

金二八六四・五九

支出部

印刷費

金一、二五〇・〇五

原稿料

金 五一二・九〇

編輯手當

金 二二〇・〇〇

通信運搬費

金 四五・四六

雜費

金 三一・二三

計

金二、〇五九・六四

差引剩餘高

金 八〇四・九五

右剩餘高ハ之ヲ準備積立金ニ編入ス

準備積立金左記之通

前年度ヨリ繰越積立

金 四〇二・六九円

本年度末新編入積立

金 八〇四・九五

計

金壹、貳〇七・六四

右之通ニ候也

昭和八年一月十日

以上

會計課